

はじめに

少子高齢化社会において、将来の担い手の育成と社会基盤の形成を図るうえで子どもの健やかな成長と子育てを支えることは、必要不可欠であり、社会全体で取り組むべき最重要課題であります。

本市では、平成27年3月に「地域で支える“安心・安全な子育て 子育てのまち 松原”」を基本理念として、「松原市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

働きながら子育てしやすい街をめざし環境整備に力を入れた結果、平成22年度より年度当初待機児童ゼロを継続してまいりましたが、保育所の新設・増改築による定員増加等のさらなる環境整備により、平成30年度以降は通年待機児童ゼロを達成しております。

さらに、在宅の子育て世帯を積極的に支援するために新たな子育て支援センターの開設、「すくすくポイントカード」の実施、そして、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する松原版ネウボラの取り組みを推進するため「子育て世代包括支援センター」を設置するなど、積極的に子育て支援施策に取り組んでまいりました。

令和2年3月に「松原市子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が終了するにあたり、計画の検証を行うとともに、さらなる子育て支援の充実を図るため「第2期松原市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

今後も本市では、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう「第2期松原市子ども・子育て支援事業計画」に掲げた目標を推進し、認定こども園の整備などにより、子育て家庭をはじめ市民の皆様との協働による安心・安全のまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり貴重なご意見を賜りました「松原市子ども・子育て会議」の委員をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。



令和2年3月

松原市長 澤井 宏文